

心の花束

様似町子育て支援だより

平成31年 2月 No.11



2019年も明るく元気な年でありますように…と、サロンで恒例の絵馬作りをしました。七転び八起きの縁起物のだるまと今年の干支の亥を台紙に貼り、顔を描きました。今回サロンに参加してくれた子ども達は月齢の低い子がほとんどだったので、親子で制作とはなりませんでした。出来上がった絵馬を見て「じょうず～」と拍手するなどして、一緒に完成を喜んでいました。大事に持ち帰ってくれて嬉しかったです。参加していただいたみなさん、ありがとうございました。



〈子育てサロンの予定 2月〉

	ひよこグループ (妊婦・0～1歳) 1.0時～1.2時・1.4時～1.6時	りすグループ (1歳(歩けるようになった子)～就学前) 1.0時～1.2時・1.4時～1.6時	
	子育てサロン	5日(火曜日)	6日(水曜日)
ぱんだ組	12日(火曜日)	13日(水曜日)	14日(木曜日)
	26日(火曜日)	20日(水曜日)	21日(木曜日)
		27日(水曜日)	28日(木曜日)

*2月19日(火) おでかけサロン(乳児健診) *2月14日(木) 園庭あそび

『1歳代は、まだプレイイヤ期！本格イヤイヤ期の前に注意したいこと。』

1歳代になると、プレイイヤ期に突入します。イヤイヤの理由は、自分の思いどおりにならないことや「眠い」「お腹がすいた」などの生理的欲求や不快感などさまざまです。お父さん、お母さんが上手に関わって乗り切りたいですね。



イヤイヤを静める基本の関わりかたは5つ

- 1) 子どもの気持ちを推測して言葉にする。
- 2) 抱っこやスキンシップで気持ちを静める。
- 3) イヤイヤしないようにイヤイヤの原因を減らす。
- 4) こじれそうになったら気分転換をさせる。
- 5) 「こういう時期」と割り切り楽しむくらいの気持ちで。

この5つを実践するだけで、プレイイヤ期はグーンとラクになるはず！

5) 「こういう時期」と割り切り楽しむくらいの気持ちで。

イヤイヤしたときに「しつけはきちんと！」と怖い顔で接したり、強い口調で叱ったりすると自己主張の意欲が減るので要注意！「イヤイヤは成長過程の一時的なこと」と割り切り、楽な気持ちでかかるとストレスを感じにくいでしょう。




〈子育て相談〉

- ・相談日・・・土曜・日曜・祝祭日を除く月曜日～金曜日
- ・時間・・・午前9時～午後5時まで
- ・TEL・・・36-5521 *FAX・・・36-2203
- ・〒058-0015 様似町錦町1番地の8(様似町立幼児センター子育て支援係)
- *電話・面談・訪問のいずれも受け付けています。気軽にご相談ください。

〈 親子でお料理 〉

*ひなまつり ♡ちらし寿司
 *いちご大福
 日 時 2月15日(金) 10:00~12:30
 場 所 保健福祉センター調理室
 持ち物 エプロン バンダナ のみもの
 おしぼり 参加費 500円
 *申し込み 2月12日(火)まで

〈 ひな飾り制作 〉

日 時 2月18日(月) 25日(月)
 10:00~11:30
 場 所 幼児センターぱんだ組 
 *フェルトで作るガーランドです
 *申し込み 2月12日(火)まで

お問い合わせ・申し込み ☎36-5521

〈今月の歌〉「うれしいひなまつり」
 〈今月のわらべうた〉「いちべえさん」
 〈今月の体操〉「おひさまおはよう」

〈今月のてあそび〉「にほんばしこちょこちょ」
 〈今月の絵本〉「ぱんだいすき」

： 節分のお話 :



むかし、目に見えない気や邪気、姿や形が隠れて見えないものを鬼とし、災害や病など人の力ではどうにもならない恐ろしいできごとは、全て鬼のしわざと考えられていました。鬼が出るという「鬼門」の方角を十二支で表したところ、丑の方位と寅の方位の中間の「丑寅」の方角に

あったので、鬼はうしの角を持ち、とらのパンツをはいている姿になったそうです。節分には、鬼が苦手なひいらぎの葉を飾り、イワシを食べ、豆をまき、災害や病を追い払いましょう！



冬にかかりやすい感染症

インフルエンザ

・急に38~40℃の高熱がでて、頭痛せき、鼻水などの風邪のような症状や重度の倦怠感、全身痛などができます。

感染症胃腸炎

・ノロウイルスやロタウイルスの感染により、嘔吐、下痢、発熱などが起り重症化することもあります。

RSウイルス感染症

・鼻水やせきから始まり、ヒューヒューという「ぜん鳴」、があるなど呼吸器の症状が強くなります。6カ月未満の乳児は重症化しやすく、細気管支炎や肺炎をおこすこともあります。

冬は、ウイルス性の感染症が流行しやすい時期です。乳児は、体温調節機能がまだ十分ではないため、室温や外気温によって体温が変化しやすく高熱も出やすいのですが、熱以外の症状(便の状態、食欲、機嫌などの全身の状態)もしっかり見ていくようにしましょう。

また、皮膚や粘膜のバリア機能も未熟なので、乾燥しすぎると風邪やインフルエンザにかかりやすくなります。普段から、水分補給、保湿、加湿を心がけましょう。